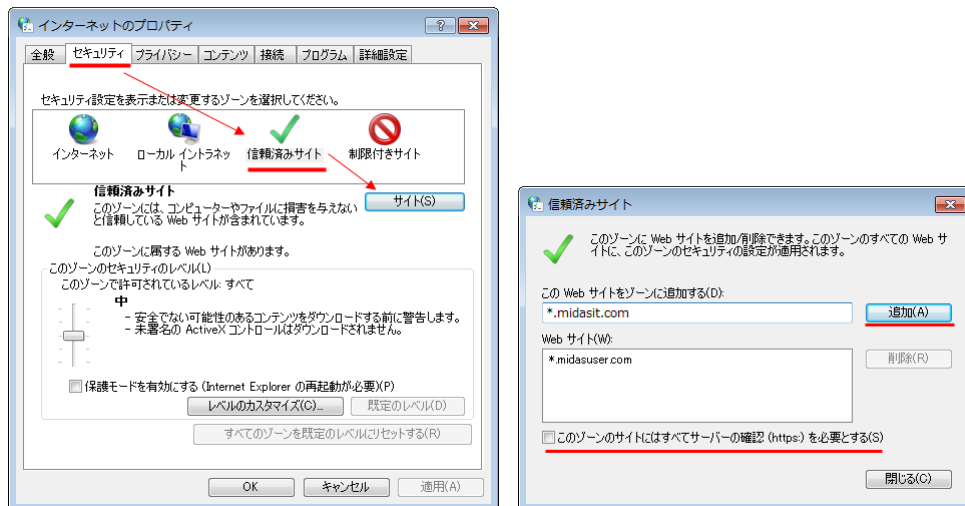


## (イ) ライセンスが使用できない場合

### ① 信頼サイト登録

セキュリティが厳しく設定されている場合は Web 認証がうまくできない場合がありますので、以下のように認証サーバーを信頼サイトとして登録してください。

- i. 「コントロールパネル>インターネットオプション」を実行します。
- ii. セキュリティタブの信頼済みサイトを選択してサイトボタンをクリックします。
- iii. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に \*.midasuser.com を入力して、「このゾーンのサイトにはすべてサーバー確認(https:)を必要とする」のチェックを外して「追加」ボタンを押します。  
同じ方法で \*.midasit.com も追加します。
- iv. パソコンを再起動して確認します。



### ② 社内ネット環境の問題で使用できない場合

Proxy サーバーを使用している場合は入力した情報が合っているのかももう一度確認します。

(3. ライセンス使用の⑥参照)

うまくできない場合は、社内のネットワーク担当者に下記の IP をファイアウォールや Proxy フィルターから解放するようお願いする必要があります。(該当アドレス:61.100.1.51～58、80 ポート)

### ③ マルチライセンス(2ライセンス目)が使用できない場合

まず、同じ MUSS ID で複数のライセンスを同時使用することはできません。別の ID を生成して利用してください。お持ちの製品番号が一つでない場合、「3. ライセンス使用の⑧」のように使用していない製品番号を選択してからプログラムを使用してください。

### ④ 他のパソコンでライセンスが使用中だと表示される場合

プログラムが非常終了された場合やネットの状態が良くない場合はライセンスの返却がうまくできずに、使用中だと表示される場合があります。その場合は、最後に使用したパソコンからプログラムを起動してファイルを開いた後、「ファイル>プロジェクトを閉じる」にてプログラムを終了するか、購入先まで連絡してください。

## (ウ) プログラムが立ち上がらない場合

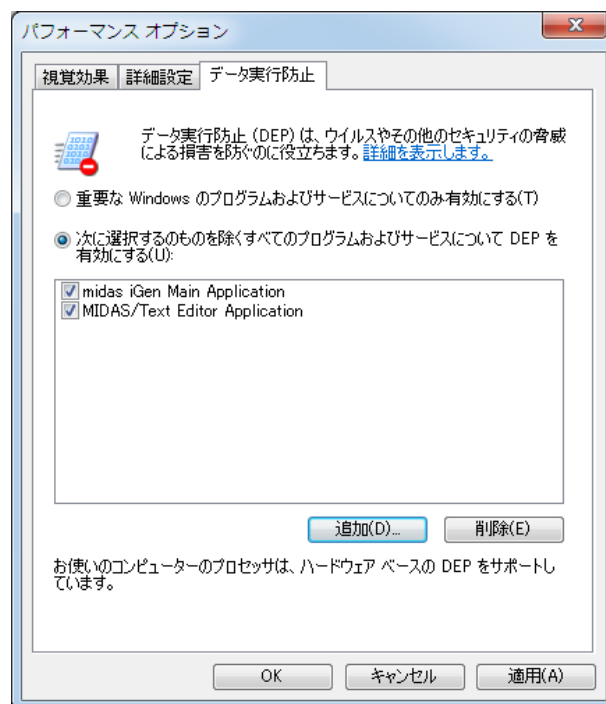
### ① 使用者権限の確認

プログラムを使用するためにはユーザーアカウントが管理者である必要があります。

コントロールパネル>ユーザーアカウント から現在使用しているアカウントの種類が管理者(administrator)権限なのか確認してください。管理者でない場合には別途〇〇への書き込み権限、および読み込み権限を与えてください。

### ② データ実行防止(DEP)除外プログラムの登録

- i. データ実行防止(DEP)除外プログラムで登録します。
- ii. コントロールパネル>システム>詳細タブのパフォーマンスの【設定】をクリック
- iii. データ実行防止タブの「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」を選択
- iv. C:\Program Files\MIDAS\midas iGen にある以下のファイルを追加して OK をクリック (midas iGen.exe、TEdit.exe) パソコンを再起動
- v. 起動時の確認メッセージや終了時のエラーメッセージが表示される場合には、スタートアイコンのプロパティ「互換性」タブにて、「互換モードでこのプログラムを実行する」WindowsXP(ServicePack3)を選択し、「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックオンして適用



### ③ グラフィックカードドライバの更新

- i. コントロール パネル>画面をクリックします。
- ii. 中で設定タブをクリックし、詳細設定をクリックします。
- iii. その中でアダプタタブをクリックすると、アダプタの種類が出ています。(例)NVIDIA Quadro NVS 160M
- iv. その名前にドライバをつけて <http://www.google.co.jp/>から検索します。  
例)NVIDIA Quadro NVS 160M ドライバ
- v. 検索すると、グラフィックカードの最新ドライバがダウンロードできるアドレスが出てきます。  
そのページから最新ドライバをダウンロードして設置してみてください。

#### 4. インターネットが使用できない場合のライセンス使用方法(出張用/緊急用キー)

「出張用/緊急用キー」はオフライン状態で iGen を起動する方法です。

プログラムのスタートページにある「緊急用・出張用キーID 申請」をクリックします。

あるいは、ホームページ > MY スペース > ソフトウェアキー発行に接続します。

[http://jp.midasuser.com/building/membership/pswlock\\_list.asp](http://jp.midasuser.com/building/membership/pswlock_list.asp)

##### (ア) 出張用キーの場合

出張やプレゼンテーション等、インターネット環境がご利用できない場所で、ウェブ認証の代わりにご利用できます。

※サービスモジュールは、技術サービス契約期間中に利用可能な機能ですが、緊急用/出張用キーでは使用できません。

ご了承の程、宜しくお願い致します。

① 出張用キータブをクリックして、リストから製品をクリックします。

② 「使用期間」を入力します。(例:2015/01/15)

③ 「使用目的」を入力します。(例:海外出張)

④ 「使用バージョン」を入力します。

「バージョン情報の入力について」をクリックするとバージョンを確認する方法が説明されています。

⑤ 「ハードウェア ID」を入力します。

ハードウェア ID は、プログラムの「ライセンス認証方法」の出張用/緊急用キーから確認できます。

2 使用期間: 2015年 01月 08日 から [ ] まで  
(使用期間は 1 日間から 7日間までご入力下さい。日付記入例: 2008/08/05)

3 使用目的: [ ]

4 使用バージョン: 835 [バージョン情報の入力について]

5 ハードウェアID: abcd 1234 [ハードウェアID確認法]

ライセンス認証方法

Web認証  
 出張用/緊急用キー

プロテクション  
キー番号  
[ ]

5 [ハードウェアID] [時間問題の修正]

起動時にダイアログを表示しない

9 [初期化] [OK] [閉じる]

⑥ 使用するオプションを選択した後で、【申請】ボタンをクリックします。

⑦ 発行されたキー番号は、【申請】ボタンの下にある「ソフトウェアロックの発行履歴」から【確認】をクリックすればコピーできます。

⑧ プログラムの「ライセンス認証方法」をクリックして、「出張用/緊急用キー」タイプを選択します。

ダイアログの「キー番号」の部分にコピーした番号を貼り付けてください。

もし、保存したい場合はテキストファイルなどを作成してそこに貼り付けて保存してください。

⑨ 【OK】ボタンをクリックしてプログラムを起動すると、メッセージウィンドウに残り期間が表示されます。

### (イ) 緊急用キーの場合

緊急用キーは、地震、火災などの天災地変または、何らかの問題によってウェブ認証サーバにアクセスできなくなった場合、緊急処置として一時的に利用できるようにするためのものです。問題時に使用するためには予め発行して保存してください。  
 ※サービスモジュールは、技術サービス契約期間中に利用可能な機能ですが、緊急用/出張用キーでは使用できません。  
 ご了承の程、宜しくお願い致します。

- ① 緊急用キータブをクリックして、リストから製品をクリックします。
- ② 「使用バージョン」を入力します。  
「バージョン情報の入力について」をクリックするとバージョンを確認する方法が説明されています。
- ③ 「ハードウェア ID」を入力します。  
ハードウェア ID は、プログラムの「ライセンス認証方法」の出張用／緊急用キーから確認できます。

・使用バージョン	835	バージョン情報の入力について
・ハードウェアID	abcd 1234	ハードウェアID確認法

- ④ 使用するオプションを選択した後で、【申請】ボタンをクリックします。
- ⑤ 発行されたキー番号は、【申請】ボタンの下にある「ソフトウェアロックの発行履歴」から【確認】をクリックすればコピーできます。
- ⑥ プログラムの「ライセンス認証方法」をクリックして、「出張用／緊急用キー」タイプを選択します。ダイアログの「キー番号」の部分にコピーした番号を貼り付けてください。  
もし、保存したい場合はテキストファイルなどを作成してそこに貼り付けて保存してください。
- ⑦ 【OK】ボタンをクリックしてプログラムを起動すると、メッセージウィンドウに残り期間が表示されます。

